

目次

第1章 人間の尊厳と自立

1	人間の尊厳と自立	10
2	介護における尊厳の保持・自立支援	13

第2章 人間関係とコミュニケーション

3	人間関係の形成	16
4	コミュニケーションの基礎	19

第3章 社会の理解

5	生活と福祉①	24
6	生活と福祉②	28
7	生活と福祉③	31
8	社会保障の基本的な考え方・発達・動向	33
9	公的年金 医療保険 社会福祉法等	38
10	介護保険制度の目的・理念	45
11	保険料・財政 利用者負担等	49
12	介護保険の給付を受けるための手続き	52
13	介護サービスの種類等	57
14	障害者自立支援制度	65
15	個人の権利を守る制度	71
16	生活保護法	76
17	保健医療に関する施策	80

第4章 介護の基本

18	介護の歴史 介護問題の背景	86
19	介護福祉士の役割と機能	92
20	尊厳を支える介護・自立に向けた介護	96
21	ICF リハビリテーション 介護を必要とする人の理解	100
22	介護サービス	104
23	介護実践における連携	106
24	介護従事者の倫理	110
25	介護における安全の確保とリスクマネジメント 感染対策	114
26	介護従事者の安全	119

第5章 コミュニケーション技術

27	介護におけるコミュニケーションの基本	124
28	コミュニケーション技法の基礎	127
29	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの技法の実際	130
30	記録 報告 会議	135

第6章 生活支援技術

31	生活支援	140
32	自立に向けた居住環境の整備	142
33	自立に向けた身じたくの介護	145
34	衣生活を調整する能力のアセスメントと介助の方法	149
35	自立に向けた移動の介護	152
36	安全で的確な移動・移乗の介助の技法	158
37	自立に向けた食事の介護	164
38	利用者の状態・状況に応じた食事介助の留意点	168
39	自立に向けた入浴・清潔保持の介護	171
40	安全で的確な入浴介助の技法	174

41	自立に向けた排泄の介護	177
42	利用者の状態・状況に応じた排泄介助の留意点	183
43	自立に向けた家事の介護	186
44	自立に向けた睡眠の介護	192
45	終末期の介護	196

第7章 介護過程

46	介護過程の意義	202
47	アセスメント 情報収集 目標	205
48	計画 実施 評価	208
49	介護過程の実践的展開	211
50	介護過程とチームアプローチ	218

第8章 発達と老化の理解

51	人間の成長と発達	222
52	老年期の発達と成熟	226
53	老化に伴う知的機能の変化と日常生活への影響	229
54	高齢者のこころの問題と日常生活への影響	232
55	老化に伴う身体の機能の変化と日常生活への影響	235
56	高齢者の疾病と生活上の留意点	241
57	高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点①	246
58	高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点②	250
59	保健医療職との連携	258

第9章 認知症の理解

60	認知症を取り巻く状況	262
61	医学的側面から見た認知症の基礎	266
62	認知症の原因となる主な病気の症状の特徴	269
63	若年性認知症	272
64	病院で行われる検査、治療の実際	274
65	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	277
66	連携と協働	280
67	家族への支援	283

第10章 障害の理解

68	障害の基本的理解	288
69	視覚障害、聴覚障害、言語機能障害	292
70	肢体不自由（運動機能障害）	296
71	内部障害	299
72	精神障害、知的障害 高次脳機能障害	305
73	発達障害、難病 連携と協働 家族への支援	308

第11章 こころとからだのしくみ

74	こころのしくみの理解	314
75	からだのしくみの基礎	318
76	身じたくに関連したこころとからだのしくみ	330
77	移動に関連したこころとからだのしくみ	333
78	食事に関連したこころとからだのしくみ	337
79	入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみ	341
80	排泄に関連したこころとからだのしくみ	344
81	睡眠に関連したこころとからだのしくみ	348
82	死にゆく人のこころとからだのしくみ	351